

# 住環境財団 研究報告書 2023 年度助成（中間報告）

## Memu Open Research Campus の社会展開

### 趣旨

地域の多様性を資源として捉えることが今後の社会に強く求められている。このためには、ある特定の地域に研究者が集まり、その土地固有の資源を再読し、理解し、生まれてくる多様な情報を資源化し、共有可能な形に再編成する活動が求められている。このような研究活動には、母体となる場所が必要となると考えられるが、それはサテライトオフィスのような閉じた空間ではなく、広く地域に開かれたオープンキャンパスであることが求められると仮説を立てている。しかしながら、研究と社会が交わり偶発的創造性を得る機会をナビゲートする場所のあり方、そのようなオープンキャンパスのソフトとハード双方の統合的な管理手法などは既往事例がなく、新しいモデルを示していく必要がある。

これまでにプロジェクトメンバーは、多様な研究者が中長期滞在を行う「Research Retreat」の仕組みをつくり、またキャンパスの施設管理（ファシリティマネジメント）を応用したオープンキャンパスのマネジメントの仕組みづくりを検証してきた。2024 年には、これらのモデルを実際に社会実装するためのキャンパス環境整備を実施し、教育や研究、社会交流に適した施設を整える。

### 実施方法

オープンキャンパスの一般開放に向けたキャンパス環境整備

### 計画（変更後日程）

2024 年 1 月 環境整備の実施段取り

2024 年 2 月 順次キャンパス環境整備の実施

2024 年 3 月 中間報告

2024 年 5 月 研究施設の整備

2025 年 3 月 成果報告

### プロジェクトメンバー一覧

名前	職名	所属
森下 有	代表理事	一般社団法人資源再読機構
小澤 巧太郎	理事	一般社団法人資源再読機構

### 会計

プロジェクト予算（案）を以下に示す。

項目	内訳	数量	金額 (千円)	備考
委託費（外部委託）	研究施設環境整備のための設計管理業務	1	1,576	
委託費（外部委託）	研究施設環境整備費	1	309	
委託費（外部委託）	研究施設環境整備費	1	306	
委託費（外部委託）	研究施設環境整備費	1	254	
通信費	インターネット整備	1	159	
執行済			2,606	
予算合計			9,100	

## プロジェクト成果（中間報告）

### 1：実験住宅棟（メーメ）の環境整備

- 研究者の中長期滞在を可能にするため、調理施設の敷設
- 夏季におけるカビの発生を抑制するための環境整備（床材の変更整備）
- その他、研究者滞在のためのマニュアル作成、備品整備

### 2：実験住宅棟（バーンハウス）の環境整備

- 研究者の中長期滞在を可能にするため、調理施設の敷設
- その他、研究者滞在のためのマニュアル作成、備品整備

### 3：実験住宅棟（ホライゾンハウス）の環境整備

- 研究者の中長期滞在を可能にするため、調理施設の敷設
- その他、研究者滞在のためのマニュアル作成、備品整備

### 4：住宅棟（平屋ログハウス）の環境整備

- 研究者の中長期滞在を可能にするため、調理施設の設置
- その他、研究者滞在のためのマニュアル作成、備品整備

### 5：実習滞在棟（カンファレンス棟）の環境整備

- 研究者滞在のためのマニュアル作成、備品整備、暖房設備の更新

### 6：共同利用棟（スタジオメム）の環境整備

- 共同利用調理施設の整備
- その他、研究者滞在のためのマニュアル作成、備品整備

### 7：キャンパス内資源、廃棄物扱いのマニュアル化と仮設小屋の敷設

- バイオマス・サイクルのための小屋の敷設
- 資源リサイクルのための小屋の敷設
- コンポストサイクルのための鶏小屋の敷設

-----  
未実施項目

- 1：研究教育目的とした鹿の解体施設の敷設
- 許認可の確認中（2024年5月より設置予定）：残予算の執行